

社会科（地理的分野）学習指導案

日 時	平成 25 年 11 月 29 日（金）第 2 校時
場 所	宇城市立不知火中学校 少人数教室
年 組	美里町立砥用中学校 1 年 1 組
	男子 18 名・女子 19 名 計 37 名
指導者	美里町立砥用中学校 教諭 廣田賢了

1 単元名 第 1 編 第 3 章 世界の諸地域 3 節 「アフリカ州」（東京書籍 P 6 5～P 7 2）

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領「内容」（1）の「世界の様々な地域」ウ「世界の諸地域」にあたる所である。アフリカ州にくらす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとに主題を設けて、地域的特色を理解させるものである。

ここでは、主題を現代の国際社会の中での日本とアフリカとの関係と設定し、追究させる。アフリカでは、第一次産品にたよるアフリカ諸国の脆弱なモノカルチャー経済、豊富な鉱産資源の輸出による発展と貧富の格差などの特徴が見られる。こうしたアフリカの現状とそれに伴う生活の特徴、そこから発生する諸問題、更にそれに対しての対策として、先進国をはじめとした世界の国々とりわけ日本との関係からアフリカの地域的特色を理解するよう指導していく。

アフリカが現在抱える問題として、近年の急激な都市化と人口増加による、上下水道の整備の遅れ、貧富の差の拡大や貧困層の労働問題、スラムの問題など都市問題が顕著である。また、食料不足や栄養不足、感染症の蔓延による死亡率の高さなども大きな課題である。更に環境問題も深刻であり、農地の拡大による森林、野生動植物の減少など多くの課題も抱えている。世界の他の州に比べて、多くの課題を抱えているアフリカ諸国は、問題を共有し、解決の方法を共同で考えるため、アフリカ連合（AU）を結成し、地域統合を目指すなど自立のための様々な努力も行っている。しかし、アフリカの自力のみでの発展には限界がある。

このような中、先進工業国は、食料援助や開発援助などアフリカの自立に向けたさまざまな援助を行っており、アフリカ発展に大きな役割を果たしている。アフリカの豊富な鉱産資源や石油、希少金属（レアメタル）の産出、輸出は先進工業国にとって非常に有用であり、結びつきを強めながら、互いに発展していくことを目指している。

先進工業国の一員であり、アフリカの豊富な資源によって支えられている日本にとっても、アフリカの課題をしっかりと把握し、アフリカの発展のために力をつくす事は、アフリカのみならず日本の発展にとって必要不可欠である。

本単元の学習により、地理的分野の目標である世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させたり、地域の課題をとらえさせたりすることで、広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力を身につけることができる。また、その際、日本や世界の諸地域が相互に関係し合っていることを追究させることは、国際社会に生きる平和で民主的な国家社会の形成者としての公民的資質の基礎を養う上で価値のあるものだと考える。

(2) 系統観

本単元における系統は以下のとおりである。

小学校社会科 第6学年	中学校社会科 第1学年地理的分野	中学校社会科 第3学年公民的分野
世界の中の日本の役割について調べ、外国の人々と共に生きていくためには、異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考える。	世界の諸地域 世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、主題を設けてそれぞれの州の地域的特色を理解する。	国際的な相互依存の深まりの中で、世界平和の実現と人類福祉の増大のため、各国が主権を尊重し、各国民が協力し合うことが大切であることを理解する。

(3) 生徒の実態

本学級は、全体的に明るく朗らかで、男女の仲も良好である。お互いを認め合い、支え合う雰囲気の中で授業に取り組むことができている。

社会科の授業においては、とても真面目に取り組み、社会科についての興味・関心や知識・理解などの能力に多少の個人差はあるものの、指示に対して、しっかり耳を傾け、一生懸命に活動することができる。グラフの読み取りや作業に対する取り組みについても、読み取る努力を行い、何らかの意見を述べる意欲も見られる。

授業中の発問に対しての発言や質問は比較的多いものの、自ら積極的に課題を見つけ、解決に向けた積極的な学習への取り組みについては、弱い面がみられる。

アンケートの結果、本単元に関係する生徒の実態は以下の通りである。(調査人数 37名)

- | |
|--|
| <p>① アフリカ州に興味がありますか。 <u>ある(6名)</u> ない(31名)</p> <ul style="list-style-type: none">・アフリカでの争い。(戦争や内戦) ・植民地の時にヨーロッパから受けた影響。・黒人などの人種について。・動物の種類が豊富な理由。・自然の豊かさについて。 <p>② <u>アフリカ州について知っていることや想像(イメージ)することは何ですか。</u></p> <ul style="list-style-type: none">・紛争がある。 ・貧しい。 ・発展していない。 ・動物が多い。 ・サハラ砂漠。・黒人の文化。 ・食べ物が少ない。 ・いろいろな民族がいる。 ・まっすぐな国境。・昔、ヨーロッパに支配されていた。 ・猿人が現れた。 ・暑い。 <p>③ アフリカの農業について知っていることはありますか。 <u>ある(6名)</u> ない(31名)</p> <ul style="list-style-type: none">・焼畑農業 ・カカオがとれる。 <p>④ アフリカの工業について知っていることはありますか。 <u>ある(7名)</u> ない(30名)</p> <ul style="list-style-type: none">・レアメタル。 ・発展していない。 ・石油がとれる。 <p>⑤ <u>日本とアフリカとの関係</u>について知っていることがあれば記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ODA ・日本は食料やワクチンなど送り支援している。 ・石油を輸入している。・日本から製品(石油製品)を輸出している。・ユニセフ ・日本人がテロで殺された。 <p>⑥ どのような授業形態が好きですか。(複数回答可)</p> <ul style="list-style-type: none">・一斉授業(3名) …関連する写真やテレビなどで、分かりやすい。みんな今楽しい。・ペア学習(5名) …協力し問題を解ける。一人は分からない、複数だと話してしまう。・班学習(27名) …意見を言いやすい。いろいろな意見を聞ける。協力して学べる。・個人での調べ学習(3名) …邪魔されず学べる。見つけた時の達成感がある。・その他(1名) …パソコンやインターネットを使う学習をしたい。 <p>⑦ 社会科はあなたにとってどんな教科ですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・社会の事を知ることができる大切な教科。 ・小学校では好きではなかったけど今楽しい。・いろいろな用語があって少し難しい教科。 ・社会人になった時に役に立つ教科。・昔の人の生き方、世界の国々などを知られる。 ・いろいろな意見を出して考える教科。 |
|--|

アンケートの結果からわかるとおり、アフリカに興味のある生徒は非常に少ない。興味のある生徒においては、動物や自然に関する事、戦争や内戦に関する事、歴史や人種に関する事に興味があることが分かった。

また、興味の有無にかかわらず、アフリカについてのイメージは紛争や貧しいなどのマイナスの面の意見が多かった。更に日本との関係においては、援助などでの関係を持っていることなどから日本よりも遅れているイメージを持っていることが分かる。

最後に、社会科の教科そのものに対しては、社会で役立つなどのプラス面と難しいというマイナス面の両面の印象を持っている一方、社会人になって役立つ教科であるという認識が大きい。授業の進め方においての好きな授業形態では、班学習やペアで他人と意見を交換しながら学習したいと思っている生徒が多い。

(4) 指導観

①指導にあたっては、次の点に留意し、指導にあたる。

- ・ 生徒の写真やビデオ等が分かりやすいという実態をふまえて、視聴覚教材（プレゼンテーションソフト等）を利用して、学習課題を認識したり、課題について考えたりしていく過程において視覚的に分かりやすくしたい。
- ・ アフリカの実情についてグラフ資料（鉱産資源産出量、貧困に関する資料、各国の援助に関する資料）やニュース動画や新聞記事（安倍総理大臣の第5回アフリカ開発会議の演説の様子など）から適切な資料内容を厳選し、生徒がより具体的に学習課題について分かりやすく考えることができるように工夫して授業を組み立てたい。
- ・ GT（ゲストティーチャー）のビデオなどを用い、授業の学習課題に対しての自分たちの意見の検証する場面において、その内容をより身近なものとして認識できるような工夫をしたい。
- ・ 生徒の班学習などでの他の生徒の意見を聞くことに対しての興味をふまえ、学習過程においての班学習を取り入れる工夫をしたい。

②本時では、特に次の点に留意し、指導にあたる。

- ・ アフリカ州の学習のまとめの時間として位置づけた時間であるので、前時の学習内容を十分に生かしながら、アフリカと日本の関係の強化からアフリカの発展が日本の発展につながっていく可能性を探り、深める指導をしたい。
- ・ また、同じ地球に生きる市民としては、共に発展していくことの喜びなどにもつなげていくことができるようにしたい。

③人権教育の視点からは、次の点に留意し、指導にあたる。

- ・ 一斉授業の中で、これまでの内容を復習しながら、本時の学習課題について個人で考えた後、グループ学習の中で、意見交換しながら思考を深めていき課題に迫るような流れにしたい。その際、他の生徒と意見を交換する場面をつくるなど、コミュニケーション力はもちろん、互いに支えあいながら学習する力を育成したい。

3 単元の目標

関心・意欲・態度	<p>アフリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、アフリカ州が生産物の輸送や開発のための技術を日本を含めた海外にたよっていることに関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとすることができる。</p> <p>カカオやレアメタルの生産など、アフリカ州の産業と日本人の日常生活とのかかわりが深いことについての関心を持つことができる。</p>
思考力・判断力・表現力	<p>アフリカ州の国々の他国への依存からの脱却が進められてきた過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>特定の生産品にたよる生活からの変化について産業の変化や自立への課題について、日本を含めた先進工業国との関係と関連付けて考察することができる。</p> <p>アフリカと日本との関係の大切さについて、考えを深めることができる。</p>
技能	<p>アフリカ州の農業と工業の特色や問題点などについて、様々な資料を収集し、その中からアフリカ州の地域的特色と日本との関係について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、文章にまとめたりすることができる。</p>
知識・理解	<p>アフリカ州について、広大なさばくなどを持つ自然環境、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解することができる。</p> <p>アフリカ州について、「アフリカと日本との関係」の学習テーマを基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けることができる。</p>

4 単元の指導計画（4時間取り扱い）

過程	次	時	主な学習活動と身につけさせたい能力や資質	評価
単元を貫く学習テーマ：アフリカと日本はどのような関係を築いていけばよいか。				
つかむ 予想する	1	1	<p>「アフリカ州をながめて」</p> <p>アフリカの自然、歴史と文化、産業の特色について、雨温図や分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。</p> <p>アフリカの地域的特色を理解するために、「現代社会の中で、アフリカと日本はどのような関係を築いていけばよいか。」という学習テーマを立て、意欲的に追究する。</p>	<p>広大なさばくなどを持つ自然、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、理解している。（ワークシート）【知識・理解】</p> <p>アフリカを概観する中で、産業の変化に関心を持ち、日本との関係性についての学習に対して、意欲的に追究しようとしている。（観察）【関心・意欲・態度】</p>
	2	2	<p>カカオや希少金属（レアメタル）の生産など、日本人の生活と関わりが深いアフリカの産業に対する関心を持つ。</p> <p>アフリカのプランテーション農業やモノカルチャー経済の実態について、主題図や貿易統計から読み取る。</p>	<p>アフリカの産業と日本人の日常生活との関わりに関心を持ち、アフリカの農業や工業を意欲的に調べようとしている。（ワークシート）【関心・意欲・態度】</p> <p>アフリカの農業と工業の特色や問題点を、様々な資料の関連付けから読み取っている。（ワークシート）【技能】</p>
確かめる 定着させる ふくらませる	3	3	<p>都市化と人口増加、環境問題、貧富の格差等などアフリカの課題とそれに対する日本の援助や対策について理解する。</p>	<p>現在のアフリカが持つ様々な課題と日本の援助や対策について、理解している。（ワークシート）【知識・理解】</p>
	4	4 本時	<p>アフリカと日本が関係を深めることの意義と大切さについて考え、理解する。</p>	<p>アフリカと日本の関係の有用性と国際協力の大切さについて考えている。（ワークシート）【思考力・判断力・表現力】</p>

5 本時の学習

(1) 目標

- 日本とアフリカの関係の深まりが双方にとってどのような意義があるのかを考え、互いの関係の大切さについて、考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	○教師の発問・指示・留意点 (予想される生徒の反応)	教材・資料等
導入	5	(1) 身近にあるアフリカからの輸入品を見て、本時への興味を持つ。	一斉 能動型学習	○アフリカからの輸入品を見せる。 ・こんなものもアフリカから来ているんだね。	チョコレート、コーヒー豆、たこなど
		(2) アフリカの課題と日本が行っている援助や対策の確認をする。	一斉 徹底指導	○アフリカには、様々な課題があり、日本がいろいろな援助や対策の資料を提示する。	スライド資料など
		(3) 学習課題を確認する	一斉 徹底指導		フラッシュカード
アフリカと日本はどのような関係を築いていけばよいだろうか。					
展開	10	(4) アフリカと日本が関係を深めることの意義について班ごとに一方の立場に立って考える。 アフリカの立場(4つの班) 日本の立場(4つの班)	班 能動型学習	○アフリカと日本の関係が深まれば、お互いにどのようなプラス面があるだろうか。 ・アフリカ…貧困解消, 経済成長, 平和維持, 教育面の向上など ・日本…資源や輸入, 観光, 人材交流など	資料集, 外務省資料, 企業, N G O の PR 等
	10	(5) 班ごとに発表する。	班 能動型学習	○わかりやすく発表させる。 ・アフリカにとって, 援助など日本と関係が深まった方がよい。 ・日本にとって, アフリカの資源など魅力的で関係が深まってほしい。	班意見記入シート
	10	(6) ゲストティーチャーの話や第5回アフリカ会議の資料などで確認する。	一斉 徹底指導	○アフリカと日本双方にとってのプラス面や世界の中の国同士, 人同士として, 共に発展していく姿勢の大切さについて理解を促す。	TICADVのニュース映像 ゲストティーチャービデオ
	10	(7) 学習課題について個人でまとめる。	個人 能動型学習	○本時の学習内容のキーワードを示し, まとめさせる。	ワークシート 評価
まとめ	5	(8) 教師のまとめを聞く。	一斉 徹底指導	○教師がまとめを行う。	スライド資料

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価	<p>A. 学習課題について、本時の学習活動を参考に日本とアフリカのそれぞれの視点から、経済面や環境保護面、人材交流や教育面など多面的多角的に考え、現在及び将来の関係の大切さについてまとめている。(ワークシート)</p> <p>B. 学習課題について、本時の学習活動を参考に日本とアフリカのそれぞれの視点から、経済面や環境保護面など関係の大切さについてまとめている。(ワークシート)</p>

